

毛利コレクション



2001年
10月26日(金) ⇒ 12月16日(日)

石巻文化センター美術・企画展示室

- 観覧時間 9:00~16:30
- 休館日 10月29日 11月5・12・19・26日
12月3・10日
- 観覧料金 一般 300円 (240円)
高校生 150円 (120円)
小・中学生 80円 (60円)

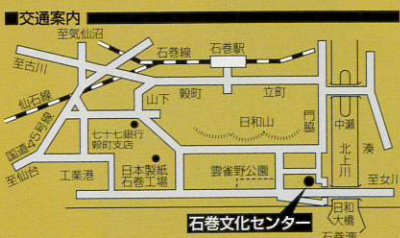
※上記料金で企画展・常設展とも観覧できます。
()内は20名以上の団体料金

- 主催 石巻文化センター・(財)石巻市文化振興公社
- 後援 河北新報社・石巻日日新聞社・三陸河北新報社
NHK 仙台放送局・TBC東北放送・仙台放送
ミヤギテレビ・東日本放送・ラジオ石巻



石巻文化センター
開館15周年記念
特別展

鏡の美



(1)市内循環バス利用の場合(石巻駅前バス停より)山下回り、
門脇回りとも石巻文化センター前下車

(2)タクシー利用の場合 石巻駅から約10分



石巻文化センター

〒986-0835 石巻市南浜町一丁目7-30
TEL. 0225-94-2811 FAX. 0225-94-2813

ホームページアドレス <http://www.iss-net.ne.jp/~ishibun>

毛利コレクション



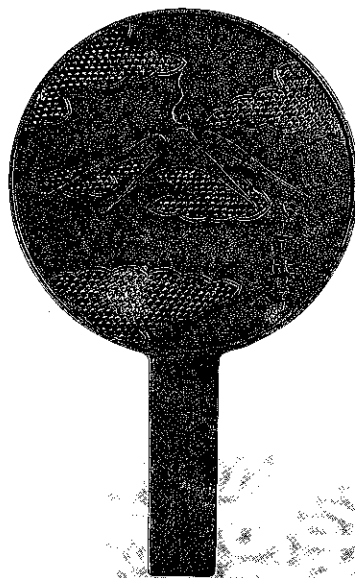
石巻文化センター
開館15周年記念
特別展

鏡の美

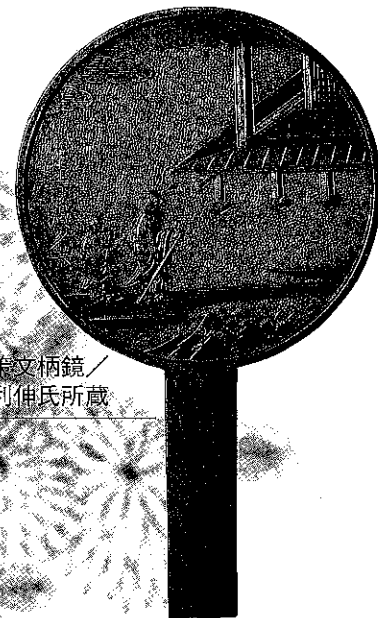
《開催主旨》

鏡は、弥生時代から古墳時代にかけて、中国から日本に輸入され、魔力を秘めたまじないの道具として、あるいは王権のシンボルとして重要視されました。奈良時代頃から次第に容飾道具としての使用方法に変化し、和鏡と呼ばれる日本独特の鏡が発達しました。室町時代には円鏡に柄をつけた柄鏡が登場し、近世には庶民の間にも普及するようになります。文様や形も多様化して、さまざまな図柄の鏡が作られるようになったのです。

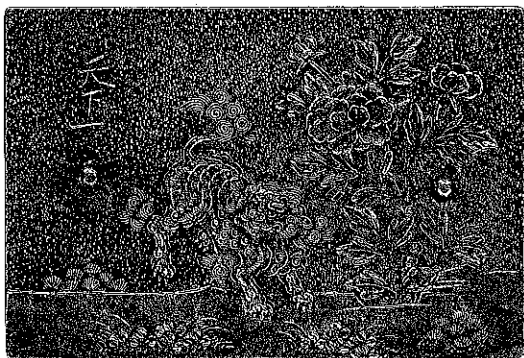
今回は、石巻文化センター開館15周年を記念して、毛利コレクションの中から、信仰や化粧にも関わりが深く、また工芸品として美しい「鏡」のデザインの数々を見ていきます。



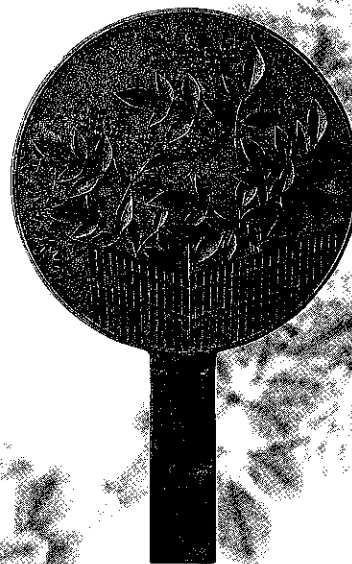
◀富士山図柄鏡／毛利伸氏所蔵



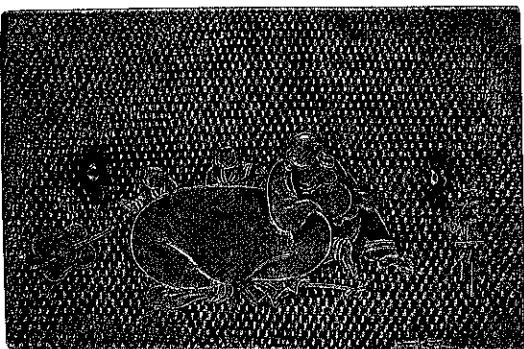
▶高師散末文柄鏡／毛利伸氏所蔵



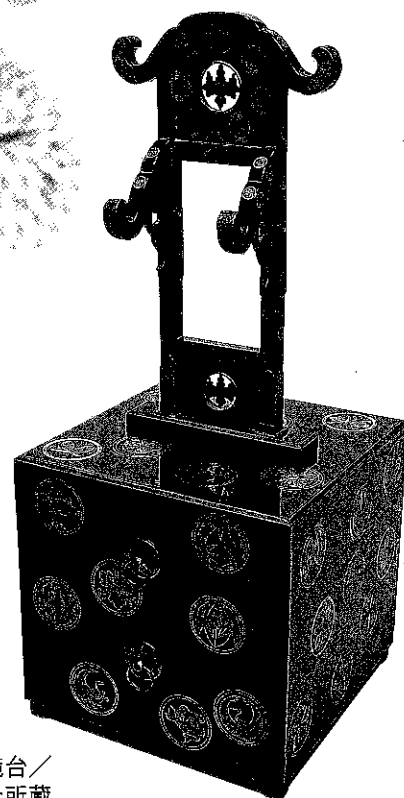
▲唐獅子牡丹図方鏡／毛利伸氏所蔵



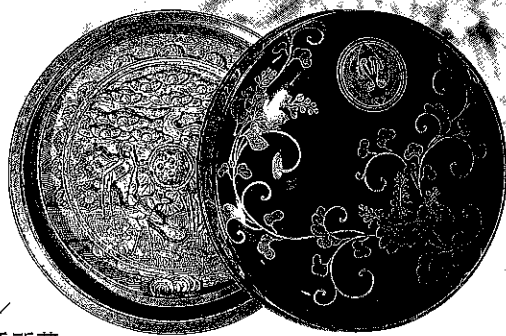
▲竹垣に南天図柄鏡／毛利伸氏所蔵



▲布袋図方鏡／毛利伸氏所蔵



▶家紋散蒔絵鏡台／毛利伸氏所蔵



▶蒔絵鏡箱／毛利伸氏所蔵